

日本の少子高齢化は、過去の予測を超えるスピードで進行しており、有田川町も例外ではなく、いわゆる限界集落の数も増え、人口も減少の一途をたどっております。また、雇用環境の変化、家族形態の変容なども相まって、社会的孤立などをはじめとする福祉課題・生活課題も多様化・複雑化しております。

このような状況を受け本会では、基本理念の「みんなが支えあい住み慣れた地域社会で安心して暮らせる福祉のまちづくり」、また地域福祉活動計画に沿った事業を展開し、地域共生社会の実現に向け取り組んでまいりました。

今後有田川町社会福祉協議会は、役員・職員一丸となって地域福祉の推進に取り組んでまいります。

本会に物心両面にわたり温かいご支援・ご協力を賜った会員・各団体・施設をはじめ、多くの皆さまに感謝申し上げます。

【基本目標1】安心・安全な仕組みづくり

- きめ細かな情報の発信・共有
- 福祉サービスの相談窓口の充実
- 社会福祉に関わる従事者の資質向上と人材確保
- 苦情を受け止める体制の整備
- 福祉サービスの適切な提供
- 災害時などの対応
- 地域における子育て、高齢者、障害のある人の見守り支援
- 権利擁護に関する普及啓発、成年後見制度の普及啓発

【総合相談事業】

心配ごと相談、法律相談及び公証人相談を実施しています。多種多様なニーズに柔軟に対応できるよう、職員間での情報共有や関係機関との連携強化に取り組んでいます。

年間開設実績回数

【心配ごと：52回 法律：12回 公証人：2回】

【介護保険事業】 【障害福祉サービス事業】

高齢者や障害者に対し、訪問介護・通所介護・訪問入浴等を実施しています。サービスの改善、ケアの質等の向上を目指し、連携を図りながら日々取り組んでいます。

【福祉サービス権利擁護事業・法人後見事業】

家族・親族・関係機関の支援が得られず、判断能力が不十分な方の金銭管理等を行っています。

【年度未契約者数：28名】

また、家庭裁判所より選任を受け、法人後見事業として援助を行っています。

【年度未受任者数：13名】

【基本目標2】支えあいのまちづくり

- 福祉の大切さを学ぶ、地域福祉の担い手の育成
- 団塊世代の社会参加
- 地域ボランティア、NPO団体の育成・支援・連携
- 協働による福祉のまちづくり



【福祉講座事業】

福祉教育として、地域の小・中学校へ出向き「車いす体験」「高齢者疑似体験」等を実施しています。福祉の大切さを育み、地域福祉の担い手を育成するため、地域を巻き込んだ福祉教育に取り組んでいます。

【学校訪問：16回 交流学習：20回 介護等体験受入：2名】

【クリーン有田川運動】

30年以上続く清掃活動であり、ボランティア連絡協議会吉備支部と幅広い世代の住民が協働で実施しました。



【約560名参加 1.6トン以上回収】

【基本目標3】自立を支える環境づくり

- 健康・介護予防とボランティア活動の推進
- 生きがいづくり推進
- 移動手段の確保（外出支援サービスの推進）
- 誰もが参加できる仕組みづくり

【福祉用具等リサイクル事業】

家庭で使われなくなった介護・育児用品を、必要とする方へ本会が橋渡しを行っています。

住民相互の支え合いを育むきっかけとなるよう、普及・啓発に取り組んでいます。

【受け渡し完了 22件】

【ひとり暮らし高齢者遠足・食事会】

【買物支援サービス】

ひとり暮らしの高齢者の方に、生きがいを持って生活を送っていただくために、日帰り遠足や食事会を実施しています。また、一部山間地域にお住いの高齢世帯を対象に、買物支援付サロンを開催しています。

参加者数

【日帰り遠足：104名 食事会：192名】

【買物支援付サロン：のべ238名】

【基本目標4】ふれあいの場所づくり

- サロン活動の充実

【ふれあい・いきいきサロン等活動の推進事業】

各地域で、ボランティアによるサロン活動が展開されており、その継続支援や、新規立ち上げ支援を行っています。

住民が自主運営できるよう支援を行い、住民の声を聴きながら対応しています。

【サロン活動費助成：35サロン】



有田川町社会福祉協議会 会費ご協力をお願い

■社会福祉協議会って？

社会福祉協議会（社協）は、共同募金会などとともに社会福祉法に基づき設置されており、地域の皆さまに支えられ、地域の方々が主体となって運営している福祉団体です。全国の市町村ごとで様々な福祉サービスを行い、それぞれの地域の特性を踏まえて独自の事業に取り組んでいます。

■社協会員って？

有田川町社協が推進する地域福祉活動にご賛同くださる個人や団体のことです。福祉のまちづくりには地域の皆さまのご参加とご支援が必要です。

■活動の財源はどうなっているの？

有田川町からの補助金を大きな財源としていますが、活動の自主性を高め、地域に根ざした福祉事業を行なっていくためには、特に社協会費や寄付金などの民間財源がとて貴重なものとなっています。

それらのほかにも、共同募金活動への協力や社会福祉事業等の運営を行い、活動財源の確保に努めています。

皆さまからご協力いただいた会費は、**全て**有田川町内の地域福祉活動のために使わせていただいております。

平成 29 年度 6,977,500 円

平成 28 年度 6,991,000 円

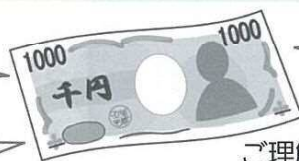
平成 29 年度の地域福祉活動のうち、次のような活動に配分させていただきました

基本目標	分類	活動内容		配分金額	
安心・安全な 仕組みづくり	きめ細やかな情報の発信・共有 福祉サービスの相談窓口の充実 災害時などの対応	広報・情報提供	年間	583,200 円	
		法律相談・心配ごと相談	年間	198,511 円	
		災害時対応研修・災害支援	備蓄品	70,505 円	
支えあいの まちづくり	福祉の大切さを学ぶ 地域福祉の担い手の育成	ボランティア活動助成 (町内小中学校) (区行事保険料) (和歌山県社会福祉協議会) (ボランティア住民活動センター)	ボランティア団体	800,000 円	
			15 校	460,000 円	
			41 区	378,997 円	
			人口一人当たり6円	162,700 円	
	協働による福祉のまちづくり	ふれあい・健康福祉まつり クリーン有田川運動 愛の物資贈呈事業 福祉機器リサイクル事業	年間	1,993,731 円	
			2 回	232,705 円	
			約 560 名	70,833 円	
自立を支える 環境づくり	生きがいづくり推進 誰もが参加できる仕組みづくり	32 箱	1,200 円		
		22 件	3,969 円		
ふれあいの 場所づくり	サロン活動の充実	ひとり暮らし高齢者遠足・食事会	104 名/192 名	640,495 円	
		在宅介護者リフレッシュ事業	1 回	700 円	
		住民交流・サロン活動助成	23 区	443,454 円	
				35 サロン	950,000 円
平成 29 年度活動分（前年度会費）合計					6,991,000 円

一世帯あたり 1,000 円で考えると…

安心・安全な仕組みづくり 122 円

支えあいのまちづくり 587 円



自立を支える環境づくり 92 円

ふれあいの場所づくり 199 円

ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【お問合せ】有田川町社会福祉協議会 総務課 TEL：0737-32-5755

私たちの取り組みの一部をご紹介します

有田川町社会福祉協議会は、基本理念に基づき様々な事業を展開しています。

また、皆さまにご協力いただきました社協会費は、当会活動の貴重な財源として広く地域福祉活動に活用させていただいております。(会費マークのある活動へ会費を役立たせていただいております。)

基本目標 1) 安心・安全な仕組みづくり

【きめ細かな情報の発信】

広報紙「社協有田川」の発行や、ホームページにて福祉に関する情報をはじめ、生活に役立つ情報を発信しています



会費

【福祉サービス利用援助事業・法人後見事業】

判断能力が不十分な高齢者や障害のある方が、安心して生活が送れるようお金の管理等をする事業を実施しています



【災害時などの対応】

災害の発生を想定し、災害ボランティアセンター設置に向けた研修等を実施しています



会費

基本目標 3) 自立を支える環境づくり

【生きがいがづくりの推進】

70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、仲間作りや歩行・外出を目的としたバス遠足・食事会を実施しています



会費

【移動手段の確保（外出支援サービスの推進）】

買い物が不便な地域の高齢者世帯を対象に、買い物つきのサロンを実施しています



会費

【誰もが参加できる仕組みづくり】

家庭で不用となった福祉用具等について「譲りたい方」と「譲ってほしい方」との橋渡しを行う、福祉用具等リサイクル事業を実施しています



基本目標 2) 支えあいのまちづくり

【地域福祉の学習と担い手の育成】

福祉の大切さを学び、次世代の担い手を育成するため、福祉教育や、各種講座・研修会の開催、啓発活動を行なっています



会費

【地域ボランティア、NPO 団体の育成・支援・連携】

ボランティア活動を実践する町内小中学校や、ボランティア団体等への助成を行なっています



会費

【協働による福祉のまちづくり】

地域のみなさんとボランティアのみなさんが一緒になって町内の清掃活動や福祉活動をしています



会費

各地区で開催されるまつりやイベント等の交流活動を支援しています



会費

基本目標 4) ふれあいの場所づくり

【サロン活動の充実】

地域の人同士のつながりを深めたり、子育て中の方々が交流して悩みや喜びを共有したりするサロン活動を支援しています



会費